

リーディングプログラム履修モデル（H25年4月入学者用）

1. プログラム履修計画作製の目的

本プログラムでは、様々な講義、実習、海外留学等のカリキュラムが生まれ、研究指導も複数教員による従来にない様式で実施される。各自の個性と将来展望に応じた効果的で適切な教育と研究指導を受け、実践科学者として成長するため、5年間の本プログラムの最初の段階において5年間の計画を作製する。

2. プログラム履修計画の作製スケジュール

選抜段階で0次プランを各自が作製し審査される。入学後、PreD（H25年度入学者は、M1）で4月から直ぐに行われるキャリア開発プログラムでの講義、コロキウムを通じ計画を完成させる。

D0 修了段階（H25年度入学者は、M2 終了段階）での **Qualifying Exam. 1** で計画に対する進捗状況を確認し、D1 進学後のプランを必要であれば再検討する。

3. プログラム履修、モデル例（参考）

本プログラムを通じた教育研究の履修計画（考え方と事例）

I. 5年間の全体構想

本プログラムの目的である「クリーン・グリーン食料生産」にどのように貢献するか、入学時点で自身のプランを策定する。そのプランと、D1 進学後に（H25年度入学者は、修士論文として実施する）専門家として成長するために取り組む研究テーマ（D1 進学段階で変更可）と関連付け、自身が必要とされる能力、素養を挙げて、5年間の全体構想を作製する。

① クリーン・グリーン食料生産に向けた構想

（例1） 砂漠など不毛地帯での食料生産のための大規模植物工場用自然エネルギー供給・貯蔵システム、水・リン等の循環再生利用システムの構築

（例2） 都市型高付加価値食料生産と食料ビジネス展開

（例3） 過疎地域、中山間地域での自立型社会構築のための食料・エネルギー生産

② 専門家として取り組む研究テーマ

（例1） 植物工場用高効率大容量キャパシター開発

（例2） 安全安心の高付加価値食料生産

③ 必要とされる能力、素養（例）とそのためのプログラム科目履修プラン（専門家としての能力を養成する修士論文、博士論文執筆以外の素養に関して記載）

・対象とする地域や社会に対し、適切な食料生産法を提案できる構想力

- ・あらゆる地域で生活する人々と意思疎通を可能とする交渉力、折衝力、表現力。それを支える世界で活躍できる語学力。
- ・プラント建設とその継続的運転を可能とする総合的な文化、歴史、法律、経済、倫理、デザイン等の素養。

II. 予定指導教員と副指導教員の候補、その理由

① 主指導教員

教員 A

(理由) 博士論文として取り組む予定の「 」について世界的に活躍している。

② 副指導教員

教員 B

(理由) 修士、博士論文で取り組む「 」の食料生産への応用において、「 」に関する基礎的な知見を有し、今後、共同研究として展開の可能性があるため。

教員 C

(理由) 食料生産に必要な環境経済学の素養を身に着けるため。

(もっと踏み込んだ例)

教員 A 工学府 N 先生

(理由) 卒論で取り組んだ大容量キャパシタの研究を世界的権威である教員の元で取り組むことを希望するため。

教員 B 農学府 O 先生

(理由) 開発する大容量キャパシタの応用先である植物工場に求められるキャパシタの能力、機能を理解するため。

教員 C 上智大学 W 先生

(理由) 農業不毛地帯で植物工場が経済的に成立するかを、定量経済学的手法により検討する能力を身に付けるため。

III. 具体的履修計画

博士前期課程（修士課程）1年<PreD>

4月～9月

リーディングプログラム キャリア開発プログラム、基盤科目（上智大学での「環境経済学」履修）

リーディングプログラム 社会交流科目（海外、3日間）履修

（在籍専攻において基礎専門科目受講）

(在籍専攻において修士論文研究、ゼミナール実施)

10月～3月

リーディングプログラム 基盤科目 (人文系実践科目 履修)

リーディングプログラム 社会交流科目 (インターンシップ参加、一週間) 履修

(在籍専攻において基礎専門科目受講)

(在籍専攻において修士論文研究、ゼミナール実施)

TOEFL, TOEIC 試験受験

博士前期課程 (修士課程) 2年<D0>

4月～9月

リーディングプログラム 他研究室における研究体験 (副指導教員 B)

(在籍専攻において基礎専門科目受講)

(在籍専攻において修士論文研究、ゼミナール実施)

10月～3月

リーディングプログラム 他研究室における研究体験 (副指導教員 C)

リーディングプログラム Qualifying Examination 1 受験

(本学博士 (後期) 課程入学 (進学) 試験受験)

(在籍専攻において専門科目受講)

(修士論文作成、ゼミナール受講)

(修士学位取得)

TOEFL, TOEIC 試験受験

博士 (後期) 課程 1年<D1>

4月～9月

リーディングプログラム インターンシップ (3ヶ月)

リーディングプログラム 国際科目 履修

(在籍専攻において専門科目受講)

(在籍専攻において博士論文研究、ゼミナール受講)

10月～3月

リーディングプログラム 海外留学 (1～3 箇月)

リーディングプログラム 基盤科目 履修

(在籍専攻において専門科目受講)

(在籍専攻において博士論文研究、ゼミナール受講)

iBT 80 達成

博士（後期）課程 2 年<D2>

4 月～9 月

リーディングプログラム イノベーション科目 履修

（在籍専攻において専門科目受講）

（在籍専攻において博士論文研究、ゼミナール受講）

10 月～3 月

（在籍専攻において専門科目受講）

（在籍専攻において博士論文研究、ゼミナール受講）

iBT 90 達成

就職内定

博士（後期）課程 3 年<D3>

4 月～9 月

リーディングプログラム Qualifying Examination 2 受験

（在籍専攻において専門科目受講）

（在籍専攻において博士論文作成、ゼミナール受講）

10 月～3 月

（在籍専攻において専門科目受講）

（在籍専攻において博士論文審査）

iBT 100 達成

リーディングプログラム 成績評価

（博士学位取得）

リーディングプログラム 修了証明取得

修了後、企業へ就職